

(4) 学級会活動（話し合い活動）の実践例 第2学年7組 1月

1. 議題 「学級文集をつくらう」

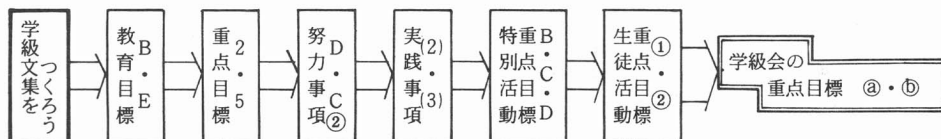
2. 議題が設定されるまでの経過

① 議題提案までの経過、方法、理由の話し合い ② 議題の提案 以下略

3. ねらい

- みんなで文集の原稿を書くことができるようにするためには、どんな内容・方法で話し合い、計画を立てればよいか話し合うことができる。

◎ 教育目標との関連



4. 指導過程

段階	活動内容	指導の要点	教育目標との関連	評価
はじめの活動	1. 中央委員による開会の言葉	<ul style="list-style-type: none"> 議題を自分の問題として受けとめさせる 議題をよく理解して積極的に話し合いに参加しようとするかまえを持たせる 	C	
	2. “学級の歌”の全員斉唱		B-2	
3. 中央委員による議題の提示	<ul style="list-style-type: none"> 全員が原稿を期日までに書くことを確認し計画表をつくらせる 原稿の題目は学校生活の思い出を中心に自分で決めさせる お互いに協力しあえる係・分担とする 		B	
4. 提案理由の説明と原案の提示			B	
展開	5. 議題についての協議	<ul style="list-style-type: none"> お互いに協力しあえる係・分担とする 	E-5-Ⓐ	Ⓑ
	(1) 全員が参加し書く		C②	
終わりの活動	6. 決定されたことの確認	<ul style="list-style-type: none"> 担任の指導事項を自分の計画に生かすようにさせる 係の仕事の重要性を意識づけ、達成への意欲をもたせる 	E-B	Ⓒ
	7. 担任の話		C②	
	8. 閉会の言葉			

(5) むすび

学級会活動は、その内容や扱い方から考えて、教育目標とのかかわりが大きいと考えられるが、それだけに活動にあたっては、教育目標との関連を十分に図りながら指導することにより教育目標具現の成果をあげる必要がある。

この事例は、教育目標を特別活動から生徒活動さらに学級会活動まで順次具体化を図っているが

授業実践にあたっては、教育目標との関連を指導過程のどこで具体化するかが問題であろう。方法としては、事例のように「指導の要点」に明確に位置づける方法もあるだろうし「教育目標との関連」の項で議題のどの過程に視点をおいて教育目標を行動化させるかなどについて、その効果も考えて位置づける研究が要求されよう。